



OnTime[®] GROUP CALENDAR

for Microsoft(Ver.4.0-)

Microsoft Teams連携設定マニュアル
クイック & ステップ バイ ステップ

OnTime Group Calendar Direct Shop

2020/08/07

目次 Microsoft Teams連携設定マニュアル



- OnTime for Microsoft Teamsセットアップ手順 p.3
- Azure Portalでアプリの登録を行う p.4
- Azure PortalでアプリケーションIDのコピー p.7
- Azure PortalでディレクトリIDのコピー p.8
- Azure Portalで認証の設定を行う p.9
- Azure Portalでクライアントシークレットの作成 p.11
- Azure Portalでクライアントシークレットのコピー p.14
- Azure PortalでAPIのアクセス許可を設定 p.15
- OnTime管理センターでアプリ登録します p.29
- OnTime管理センターからアクセス許可を確認 p.31
- OnTime側のconfig.htmlファイルを登録 p.35
- Teamsのアプリ登録用zipファイルの作成 p.39
- Teamsへアプリの新規登録 p.44
- 続いてチームのチャンネルにアプリの追加 p.48
- 補足 p.54

OnTime for Microsoft Teams セットアップ手順



- OnTime for Microsoft Teamsは標準ライセンスだけで以下の機能をご利用いただけます
 - OnTime Desktopクライアントでも会議作成時に「Teams会議」を選択できるようになります
 - Teamsのチーム/チャンネルのタブに表示してチャンネルメンバーのスケジュールを表示できます
- セットアップ手順は大きく4つです
 1. Azure Active Directory でOnTimeをアプリとして登録します
 2. OnTime管理センターから接続してアクセス許可を確認します
 - この手順までで会議作成時に「Teams会議」が選択できるようになります –
 3. Microsoft Teams連携用各種ファイルを準備します
 4. Microsoft Teamsでアプリとして登録します
- Microsoft Teams(以後Teams)連携の仕様のため以下が必要です
 1. OnTimeサーバーは証明書を利用したhttps接続を利用できる必要があります
設定方法は右のリンクからご確認ください <https://www3.ontimesuite.jp/ssl-cert2/>
 2. OnTimeサーバーはTeamsからリダイレクト先として接続できる場所に存在する必要があります

Azure Portalでアプリの登録を行う 1



The screenshot shows the Azure Portal interface for the OnTimeBiz tenant. The left navigation pane is visible, with 'アプリの登録' (Register Apps) highlighted. The main content area displays the '概要' (Overview) for the OnTimeBiz tenant, including tenant ID, role, and a line graph for sign-in activity.

OnTimeBiz 概要

Azure Active Directory

検索 (Ctrl+)

テナントの切り替え | テナントの削除 | テナントの作成 | 新機能 | フィードバックがある場合

Azure Active Directory を使用すると、従業員とパートナーのリモート作業が可能になります。 [詳細情報](#)

概要

OnTimeBiz

ontimebiz.onmicrosoft.com

テナント ID 5f7cbb95-479c-4238-839e-3bc1568494b8

ロール グローバル管理者 [詳細情報](#)

検索 ユーザー

Azure AD for Office 365

Azure AD Connect

状態 有効

最終同期 1 時間以内

サインイン

サインイン
5月17日
5月24日
5月31日
6月7日

- 利用するTeamsのテナントの Azure Portal に管理者でログインします
- Azure Portal から Azure Active Directory の「アプリの登録」を開きます
- 注意)本マニュアルでの構成
 - Teamsを利用するテナントを「ontime.biz」としてご説明しています
 - OnTimeサーバーのホスト名は「ontime.ontimedemo.com」としてご説明しています

Azure Portalでアプリの登録を行う 2



Microsoft Azure | リソース、サービス、ドキュメントの検索 (G+/)

ホーム > OnTimeBiz | アプリの登録

検索 (Ctrl+/) << + 新規登録 エンドポイント トラブルシューティング フィードバックがある場合

新しく改良されたアプリの登録 (一般提供になりました) へようこそ。新機能と変更内容についてご確認ください。 →

すべてのアプリケーション 所有しているアプリケーション

名前またはアプリケーション ID を入力し始めると結果がフィルター処理されます

表示名	アプリケーション (クライアント) ...	作成日	証明書とシークレット
ON OnTimeApp	4a124007-27af-43c1-8d39-10e808e...	2019/4/5	✓ 現在
NE newontime	16376399-7175-4e15-9088-f077cb9...	2019/4/10	✓ 現在
ON ontimedemo	aba43e74-7009-4335-883e-fb9acbc...	2019/4/25	✓ 現在
OB ObizotOnTimeOtbz	cde0d143-3b4b-4bbd-9991-523f71...	2020/6/11	✓ 現在

- 「アプリの登録」で「新規登録」をクリックします

Azure Portalでアプリの登録を行う 3



Microsoft Azure | リソース、サービス、ドキュメントの検索 (G+)

ホーム > OnTimeBiz | アプリの登録 >

アプリケーションの登録

* 名前

このアプリケーションのユーザー向け表示名 (後で変更できます)。

For ontime.ontimedemo.com

サポートされているアカウントの種類

このアプリケーションを使用したりこの API にアクセスしたりできるのはだれですか?

この組織ディレクトリのみに含まれるアカウント (OnTimeBiz のみ - シングル テナント)

任意の組織ディレクトリ内のアカウント (任意の Azure AD ディレクトリ - マルチテナント)

任意の組織ディレクトリ内のアカウント (任意の Azure AD ディレクトリ - マルチテナント) と個人の Microsoft アカウント (Skype、Xbox など)

選択に関する詳細...

リダイレクト URI (省略可能)

ユーザー認証が成功すると、この URI に認証応答を返します。この時点での指定は省略可能で、後ほど変更できますが、ほとんどの認証シナリオで値が必要となります。

Web | https://ontime.ontimedemo.com/ontimegcm s/code.html

続行すると、Microsoft プラットフォーム ポリシーに同意したことになります

登録

- 「名前」にはTeams上でもエンドユーザーには表示されない名前なので管理上識別しやすい名前を入力します
- 「サポートされているアカウントの種類」は「任意の組織のディレクトリ内のアカウント」を選択します
- 「リダイレクトURI」にはOnTimeが動作するホスト名とhtmlを指定します
「https://HOSTNAME/ontimegcm s/code.html」
HOSTNAMEは適宜組織のサーバーで書き換えてください
- 最後に「登録」をクリックします

Azure PortalでアプリケーションIDのコピー



Microsoft Azure | リソース、サービス、ドキュメントの検索 (G+/)

ホーム > OnTimeBiz | アプリの登録 >

For ontime.ontimedemo.com

検索 (Ctrl+/) << 削除 エンドポイント

概要

表示名
For ontime.ontimedemo.com

アプリケーション (クライアント) ID
[Application ID]

ディレクトリ (テナント) ID
[Directory ID]

オブジェクト ID
[Object ID]

サポートされているアカウントの種類
複数の組織

リダイレクト URI
1 個の Web、0 個の SPA、0 個のパブリック クライアント

アプリケーション ID の URI
アプリケーション ID URI の追加

ローカル ディレクトリでのマネージド アプリケーション
For ontime.ontimedemo.com

新しく強化されたアプリの登録へようこそ。アプリの登録 (レガシ) からの変更点を確認することをご希望ですか? [詳細情報](#)

API の呼び出し

ドキュメント

Microsoft ID プラットフォーム
認証シナリオ
認証ライブラリ
コード サンプル
Microsoft Graph
用語集
ヘルプとサポート

Microsoft サービスと自社の独自のデータ ソースからの豊富なユーザー データおよびビジネス データを使用して、より強力なアプリを作成します。

API アクセス許可の表示

5 分以内にユーザーをサインインする

- 画面が切り替わったら「アプリケーション (クライアント) ID」をコピーして保管します
- 「アプリケーション (クライアント) ID」は後ほど OnTime 管理センターで登録時に利用しますので大切に保管します

Azure PortalでディレクトリIDのコピー



The screenshot shows the Azure Portal interface for an application. The 'ディレクトリ (テナント) ID' field is highlighted with a yellow box, and a tooltip indicates that the value has been copied to the clipboard. The interface includes a search bar, navigation menu, and various sections like 'API の呼び出し' and 'ドキュメント'.

- 同じく「ディレクトリ(テナント)ID」をコピーして保管します
- 「ディレクトリ(テナント)ID」は後ほど OnTime 管理センターで登録時に利用しますので大切に保管します

Azure Portalで認証の設定を行う 1



Microsoft Azure | リソース、サービス、ドキュメントの検索 (G+)

ホーム > OnTimeBiz | アプリの登録 >

For ontime.ontimedemo.com | 認証

検索 (Ctrl+)

概要

クイックスタート

統合アシスタント (プレビュー)

管理

ブランド

認証

証明書とシークレット

トークン構成

API のアクセス許可

API の公開

所有者

ロールと管理者 (プレビュー)

マニフェスト

サポート + トラブルシューティング

トラブルシューティング

新しいサポート リクエスト

プラットフォーム構成

このアプリケーションが対象としているプラットフォームまたはデバイスによっては、リダイレクト URI、特定の認証設定、プラットフォームに特有のフィールドなど追加構成が必要となる場合があります。

+ プラットフォームを追加

Web

リダイレクト URI

ユーザー認証に成功した後に認証応答 (トークン) を返すときに宛先として受け入れる URI。応答 URL と呼ばれます。リダイレクト URI と制限の詳細情報

https://ontime.ontimedemo.com/ontimegcms/code.html

URI の追加

ログアウト URL

ここでは、アプリケーションがユーザーのセッション データをクリアするように要求を送信します。これは、シングルサインアウトが正常に動作するために必要です。

例: https://myapp.com/logout

暗黙の付与

アプリケーションが承認エンドポイントから直接トークンを要求することを許可します。アクセス トークンと ID トークンの確認が推奨されるのは、アプリケーションがシングルページ アーキテクチャ (SPA) を備えている場合、バックエンドコンポーネントがなく認証コード フローで MSAL.js の最新バージョンを使用していない場合、JavaScript を使用して Web API を呼び出す場合だけです。ASP.NET Core Web アプリには ID トークンが必要です。暗黙的な許可フローの詳細

- 「認証」タブに移動します
- 画面上ではトップに先ほど登録した「リダイレクトURI」が表示されています
- 画面下の「暗黙の付与」が表示されるまで下にスクロールします

Azure Portalで認証の設定を行う 2



Microsoft Azure | リソース、サービス、ドキュメントの検索 (G+/)

ホーム > OnTimeBiz | アプリの登録 >

For ontime.ontimedemo.com | 認証

検索 (Ctrl+/) < 保存 < 破棄 | フィードバックがある場合

概要

クイックスタート

統合アシスタント (プレビュー)

管理

ブランド

認証

証明書とシークレット

トークン構成

API のアクセス許可

API の公開

所有者

ロールと管理者 (プレビュー)

マニフェスト

サポート + トラブルシューティング

トラブルシューティング

新しいサポート リクエスト

アプリケーションが承認エンドポイントから直接トークンを要求することを許可します。アクセス トークンと ID トークンの確認が推奨されるのは、アプリケーションがシングルページ アーキテクチャ (SPA) を備えている場合、バックエンド コンポーネントがなく認証コード フローで MSAL.js の最新バージョンを使用していない場合、JavaScript を使用して Web API を呼び出す場合だけです。ASP.NET Core Web アプリには ID トークンが必要です。 [暗黙的な許可フローの詳細](#)

暗黙的な許可フローを有効にするには、承認エンドポイントが発行するトークンを選択してください。

アクセス トークン

ID トークン

サポートされているアカウントの種類

このアプリケーションを使用したりこの API にアクセスしたりできるのはだれですか?

この組織ディレクトリのみに含まれるアカウント (OnTimeBiz のみ - シングル テナント)

任意の組織ディレクトリ内のアカウント (任意の Azure AD ディレクトリ - マルチテナント)

[判断に役立つヘルプの表示...](#)

! サポートされている機能が一時的に異なるため、既存の登録に関して個人用 Microsoft アカウントを有効にしないでください。個人アカウントを有効にする必要がある場合、マニフェスト エディターを使用して有効にできます。 [これらの制限に関する詳細情報。](#)

詳細設定

既定のクライアントの種類

アプリケーションは、パブリック クライアントとして扱います。
リダイレクト URI が使用されていないフローを使用するのに必要です。

はい いいえ

- リソース所有者のパスワード資格情報 (ROPC) [詳細情報](#)
- デバイス コード フロー [詳細情報](#)
- 統合 Windows 認証 (IWA) [詳細情報](#)

- 「暗黙の付与」では「アクセストークン」にチェックをつけます
- その他は変更せずに「保存」をクリックします

Azure Portalでクライアントシークレットの作成 1



Microsoft Azure | リソース、サービス、ドキュメントの検索 (G+/)

ホーム > OnTimeBiz | アプリの登録 >

For ontime.ontimedemo.com | 証明書とシークレット

検索 (Ctrl+)

概要

クイックスタート

統合アシスタント (プレビュー)

管理

ブランド

認証

証明書とシークレット

トークン構成

API のアクセス許可

API の公開

所有者

ロールと管理者 (プレビュー)

マニフェスト

サポート + トラブルシューティング

トラブルシューティング

新しいサポート リクエスト

資格情報は、Web アドレスの指定が可能な場所で (HTTPS スキーマを使用して) トークンを受信する際に、機密性の高いアプリケーションが認証サービスに対して自身を識別できるようにするためのものです。より高いレベルで保証するには、資格情報として (クライアント シークレットではなく) 証明書を使うことをお勧めします。

証明書

証明書は、トークンの要求時にアプリケーションの ID を証明するシークレットとして使用できます。公開キーとも呼ばれます。

証明書のアップロード

拇印	開始日	有効期限
このアプリケーションには証明書が追加されていません。		

クライアントシークレット

トークンの要求時にアプリケーションが自身の ID を証明するために使用する秘密の文字列です。アプリケーション パスワードと呼ばれることもあります。

新しいクライアントシークレット

説明	有効期限	値
このアプリケーションのクライアントシークレットは作成されていません。		

https://portal.azure.com/?l=ja-jp#blade/Microsoft_AAD_RegisteredApps/ApplicationMenuBlade/Credentials/qui...9c13f76be/isMSAApp//defaultBlade/Overview/appSignInAudience/AzureADMultipleOrgs/servicePrincipalCreated/true

- 「証明書とシークレット」タブをクリックします
- こちらではOnTimeサーバーがアクセスする際に自身のIDを証明する為の「クライアントシークレット」を作成します
- 「クライアントシークレット」は「アプリケーションパスワード」と呼ばれることもあります

Azure Portalでクライアントシークレットの作成 2



- 「新しいクライアントシークレット」をクリックします

Microsoft Azure | リソース、サービス、ドキュメントの検索 (G+)

ホーム > OnTimeBiz | アプリの登録 >

For ontime.ontimedemo.com | 証明書とシークレット

検索 (Ctrl+F)

概要

クイックスタート

統合アシスタント (プレビュー)

管理

ブランド

認証

証明書とシークレット

トークン構成

API のアクセス許可

API の公開

所有者

ロールと管理者 (プレビュー)

マニフェスト

サポート + トラブルシューティング

トラブルシューティング

新しいサポート リクエスト

資格情報は、Web アドレスの指定が可能な場所で (HTTPS スキーマを使用して) トークンを受信する際に、機密性の高いアプリケーションが認証サービスに対して自身を識別できるようにするためのものです。より高いレベルで保証するには、資格情報として (クライアント シークレットではなく) 証明書を使用することをお勧めします。

証明書

証明書は、トークンの要求時にアプリケーションの ID を証明するシークレットとして使用できます。公開キーとも呼ばれます。

証明書のアップロード

拇印	開始日	有効期限
このアプリケーションには証明書が追加されていません。		

クライアントシークレット

トークンの要求時にアプリケーションが自身の ID を証明するために使用する秘密の文字列です。アプリケーション パスワードと呼ばれることもあります。

+ 新しいクライアントシークレット

新しいクライアントシークレット	有効期限	値
このアプリケーションのクライアントシークレットは作成されていません。		

Azure Portalでクライアントシークレットの作成 3



Microsoft Azure | リソース、サービス、ドキュメントの検索 (G+/)

ホーム > OnTimeBiz | アプリの登録 >

For ontime.ontimedemo.com | 証明書とシークレット

検索 (Ctrl+/)

クライアントシークレットの追加

説明
OnTime for Teams用

有効期限
 1年
 2年
 なし

追加 キャンセル

クライアントシークレット

トークンの要求時にアプリケーションが自身の ID を証明するために使用する秘密の文字列です。アプリケーション パスワードと呼ばれることもあります。

+ 新しいクライアントシークレット

説明	有効期限	値
----	------	---

このアプリケーションのクライアントシークレットは作成されていません。

- 「クライアントシークレットの追加」ダイアログが開きます
- 「説明」には識別しやすい名前を入力します
- 「有効期限」は「なし」を選択します
- 内容がよろしければ「追加」ボタンをクリックします

Azure Portalでクライアントシークレットのコピー



Microsoft Azure | リソース、サービス、ドキュメントの検索 (G+)

ホーム > OnTimeBiz | アプリの登録 >

For ontime.ontimedemo.com | 証明書とシークレット

検索 (Ctrl+)

新しいクライアントシークレット値をコピーしてください。別の操作を実行したり、このブレードから移動したりすると、それを取扱できなくなります。

資格情報は、Web アドレスの指定が可能な場所 (HTTPS スキーマを使用して) トークンを受信する際に、機密性の高いアプリケーションが認証サービスに対して自身を識別できるようにするためのものです。より高いレベルで保証するには、資格情報として (クライアントシークレットではなく) 証明書を使うことをお勧めします。

証明書

証明書は、トークンの要求時にアプリケーションの ID を証明するシークレットとして使用できます。公開キーとも呼ばれます。

証明書のアップロード

拇印	開始日	有効期限
このアプリケーションには証明書が追加されていません。		

クライアントシークレット

トークンの要求時にアプリケーションが自身の ID を証明するために使用する秘密の文字列です。アプリケーションパスワードと呼ばれることもあります。

新しいクライアントシークレット

説明	有効期限	値
OnTime for Teams用	2299/12/31	[Redacted]

クリップボードにコピー

- 先ほどの画面上に作成した「クライアントシークレット」が表示されています
- 「値」をコピーして保管します
- 「値」はこのタイミングでコピーしないと二度と取得できないのでご注意ください
- 「値」は後ほどOnTime管理センターで登録時に利用しますので大切に保管します

Azure PortalでAPIのアクセス許可を設定 1



Microsoft Azure | リソース、サービス、ドキュメントの検索 (G+/)

ホーム > OnTimeBiz | アプリの登録 >

For ontime.ontimedemo.com | API のアクセス許可

検索 (Ctrl+/) << 最新の情報に更新

概要

クイックスタート

統合アシスタント (プレビュー)

管理

ブランド

認証

証明書とシークレット

トークン構成

API のアクセス許可

API の公開

所有者

ロールと管理者 (プレビュー)

マニフェスト

サポート + トラブルシューティング

トラブルシューティング

新しいサポート リクエスト

構成されたアクセス許可

アプリケーションは、同意のプロセスの一環としてユーザーが管理者からアクセス許可が付与されている場合、API を呼び出すことが承認されます。構成されたアクセス許可の一覧には、アプリケーションに必要なすべてのアクセス許可を含める必要があります。 [アクセス許可と同意に関する詳細情報](#)

+ アクセス許可の追加 OnTimeBiz に管理者の同意を与えます

API / アクセス許可の名前	種類	説明	管理者の同意が必要	状態
▼ Microsoft Graph (1)				
User.Read	委任済み	Sign in and read user profile	-	...

https://portal.azure.com/?l=ja-jp#blade/Microsoft_AAD_RegisteredApps/ApplicationMenuBlade/CallAnAPI/quick...c13f76be/isMSAAApp//defaultBlade/Overview/appSignInAudience/AzureADMultipleOrgs/servicePrincipalCreated/true

- 「APIのアクセス許可」タブに移動します
- こちらはOnTimeサーバーがAzureADにアクセスする内容を定義します

Azure PortalでAPIのアクセス許可を設定 2



API / アクセス許可の名前	種類	説明	管理者の同意が必要	状態
Microsoft Graph (1) User.Read	委任済み	Sign in and read user profile	-	...

- 「Microsoft Graph(1)」をクリックします

Azure PortalでAPIのアクセス許可を設定 3



Microsoft Azure

API アクセス許可の要求

Microsoft Graph
https://graph.microsoft.com/ ドキュメント

アプリケーションに必要なアクセス許可の種類

委任されたアクセス許可
アプリケーションは、サインインしたユーザーとして API にアクセスする必要があります。

アプリケーションの許可
アプリケーションは、サインインしたユーザーとして、バックグラウンド サービスまたはデーモンとして実行されます。

アクセス許可を選択する

検索するテキストを入力

アクセス許可 管理者の同意が必要

<input type="checkbox"/>	email View users' email address	-
<input checked="" type="checkbox"/>	offline_access Maintain access to data you have given it access to	-
<input type="checkbox"/>	openid Sign users in	-
<input type="checkbox"/>	profile View users' basic profile	-

> AccessReview
> AdministrativeUnit
> AgreementAcceptance
> Agreement
> Analytics
> AppCatalog
> Application
> AppRoleAssignment

アクセス許可の更新 破棄

- アプリケーションに必要なアクセス許可の種類にある「委任されたアクセス許可」と「アプリケーションの許可」から「委任されたアクセス許可」を選択します
- 「offline_access」にチェックを付けます

Azure PortalでAPIのアクセス許可を設定 4



Microsoft Azure | リソース、サービス、ドキュメントの検索 (G+)

ホーム > OnTimeBiz | アプリの登録 >

For ontime.ontimedemo.com | A

検索 (Ctrl+/) << >> 最新の情報に更新

概要

クイックスタート

統合アシスタント (プレビュー)

管理

ブランド

認証

証明書とシークレット

トークン構成

API のアクセス許可

API の公開

所有者

ロールと管理者 (プレビュー)

マニフェスト

サポート + トラブルシューティング

トラブルシューティング

新しいサポート リクエスト

API アクセス許可の要求

Microsoft Graph
https://graph.microsoft.com/ | ドキュメント

アプリケーションに必要なアクセス許可の種類

委任されたアクセス許可
アプリケーションは、サインインしたユーザーとして API にアクセスする必要があります。

アプリケーションの許可
アプリケーションは、サインインしたユーザーなしで、バックグラウンド サービスまたはデーモンとして実行されます。

アクセス許可を選択する [すべて展開](#)

検索するテキストを入力

アクセス許可	管理者の同意が必要
<input type="checkbox"/> email View users' email address ⓘ	-
<input checked="" type="checkbox"/> offline_access Maintain access to data you have given it access to ⓘ	-
<input checked="" type="checkbox"/> openid Sign users in ⓘ	-
<input type="checkbox"/> profile View users' basic profile ⓘ	-

> AccessReview

> AdministrativeUnit

> AgreementAcceptance

> Agreement

> Analytics

> AppCatalog

> Application

> AppRoleAssignment

[アクセス許可の更新](#) [破棄](#)

- 次に「openid」にチェックを付けます

Azure PortalでAPIのアクセス許可を設定 5



Microsoft Azure

ホーム > OnTimeBiz | アプリの登録 >

For ontime.ontimedemo.com | A

検索 (Ctrl+/)

最新の情報に更新

アプリケーションに

構成されたアクセス

アプリケーションは、同意

シヨンに必要なすべての

アクセス許可の追

API / アクセス許

Microsoft Gr

User.Read

API アクセス許可の要求

Microsoft Graph
https://graph.microsoft.com/ [ドキュメント](#)

アプリケーションに必要なアクセス許可の種類

委任されたアクセス許可
アプリケーションは、サインインしたユーザーとして API にアクセスする必要があります。

アプリケーションの許可
アプリケーションは、サインインしたユーザーなしで、バックグラウンド サービスまたはデーモンとして実行されます。

アクセス許可を選択する

検索するテキストを入力

アクセス許可 管理者の同意が必要

- > AccessReview
- > AdministrativeUnit
- > Application
- > AppRoleAssignment
- > ApprovalRequest
- > AuditLog
- > BitlockerKey
- > Calendars
- > CallRecords
- > Calls
- > Channel
- > ChannelMember
- > ChannelMessage
- > ChannelSettings

[すべて展開](#)

[アクセス許可の更新](#) [破棄](#)

- アプリケーションに必要なアクセス許可の種類にある「委任されたアクセス許可」と「アプリケーションの許可」から「アプリケーションの許可」を選択します

Azure PortalでAPIのアクセス許可を設定 6



Microsoft Azure | リソース、サービス、ドキュメントの検索 (G+)

ホーム > OnTimeBiz | アプリの登録 >

For ontime.ontimedemo.com | A

検索 (Ctrl+/) << >> 最新の情報に更新

概要

クイックスタート

統合アシスタント (プレビュー)

管理

ブランド

認証

証明書とシークレット

トークン構成

API のアクセス許可

API の公開

所有者

ロールと管理者 (プレビュー)

マニフェスト

サポート + トラブルシューティング

トラブルシューティング

新しいサポート リクエスト

API アクセス許可の要求

Microsoft Graph
https://graph.microsoft.com/ [ドキュメント](#)

アプリケーションに必要なアクセス許可の種類

委任されたアクセス許可
アプリケーションは、サインインしたユーザーとして API にアクセスする必要があります。

アプリケーションの許可
アプリケーションは、サインインしたユーザーなしで、バックグラウンド サービスまたはデーモンとして実行されます。

アクセス許可を選択する [すべて展開](#)

検索するテキストを入力

アクセス許可 管理者の同意が必要

- > AccessReview
- > AdministrativeUnit
- > Application
- > AppRoleAssignment
- > ApprovalRequest
- > AuditLog
- > BitlockerKey
- > Calendars (1)
 - Calendars.Read
Read calendars in all mailboxes ⓘ はい
 - Calendars.ReadWrite
Read and write calendars in all mailboxes ⓘ はい
- > CallRecords
- > Calls
- > Channel

[アクセス許可の更新](#) [破棄](#)

- 「Calendars.ReadWrite」にチェックを付けます

Azure PortalでAPIのアクセス許可を設定 7



Microsoft Azure | リソース、サービス、ドキュメントの検索 (G+)

ホーム > OnTimeBiz | アプリの登録 >

For ontime.ontimedemo.com | A

検索 (Ctrl+/) << >> 最新の情報に更新

概要

クイックスタート

統合アシスタント (プレビュー)

管理

ブランド

認証

証明書とシークレット

トークン構成

API のアクセス許可

API の公開

所有者

ロールと管理者 (プレビュー)

マニフェスト

サポート + トラブルシューティング

トラブルシューティング

新しいサポート リクエスト

API アクセス許可の要求

> Calls

> Channel

> ChannelMember

> ChannelMessage

> ChannelSettings

> Chat

> Contacts

> DelegatedPermissionGrant

> Device

> DeviceManagementApps

> DeviceManagementConfiguration

> DeviceManagementManagedDevices

> DeviceManagementRBAC

> DeviceManagementServiceConfig

▼ Directory (1)

<input checked="" type="checkbox"/>	Directory.Read.All Read directory data ⓘ	はい
<input type="checkbox"/>	Directory.ReadWrite.All Read and write directory data ⓘ	はい

> Domain

> EduAdministration

> EduAssignments

> EduRoster

アクセス許可の更新 破棄

- 次に「Directory.Read.All」にチェックを付けます

Azure PortalでAPIのアクセス許可を設定 8



Microsoft Azure | リソース、サービス、ドキュメントの検索 (G+)

ホーム > OnTimeBiz | アプリの登録 >

For ontime.ontimedemo.com | A

検索 (Ctrl+/) << 最新の情報に更新

概要

クイックスタート

統合アシスタント (プレビュー)

管理

ブランド

認証

証明書とシークレット

トークン構成

API のアクセス許可

API の公開

所有者

ロールと管理者 (プレビュー)

マニフェスト

サポート + トラブルシューティング

トラブルシューティング

新しいサポート リクエスト

API アクセス許可の要求

- > DeviceManagementRBAC
- > DeviceManagementServiceConfig
- ▼ Directory (1)
 - Directory.Read.All
Read directory data ⓘ はい
 - Directory.ReadWrite.All
Read and write directory data ⓘ はい
- > Domain
- > EduAdministration
- > EduAssignments
- > EduRoster
- > EntitlementManagement
- > ExternalItem
- > Files
- ▼ Group (1)
 - Group.Create
Create groups ⓘ はい
 - Group.Read.All
Read all groups ⓘ **はい**
 - Group.ReadWrite.All
Read and write all groups ⓘ はい
- > GroupMember
- > IdentityProvider
- > IdentityRiskEvent

アクセス許可の更新 破棄

- 次に「Group.Read.All」にチェックを付けます

Azure PortalでAPIのアクセス許可を設定 9



The screenshot shows the 'API Access Permissions' page in the Azure Portal. The page title is 'API アクセス許可の要求'. The left sidebar shows the navigation menu with 'API のアクセス許可' selected. The main content area lists various permissions under different categories. The 'GroupMember (1)' category is expanded, and the 'GroupMember.Read.All' permission is highlighted with a yellow box. The permission is checked, and the 'はい' (Yes) column is visible. Below the list, there are buttons for 'アクセス許可の更新' and '破棄'.

Category	Permission	Value
Group (1)	<input type="checkbox"/> Group.Create Create groups	はい
	<input checked="" type="checkbox"/> Group.Read.All Read all groups	はい
	<input type="checkbox"/> Group.ReadWrite.All Read and write all groups	はい
GroupMember (1)	<input checked="" type="checkbox"/> GroupMember.Read.All Read all group memberships	はい
	<input type="checkbox"/> GroupMember.ReadWrite.All Read and write all group memberships	はい
IdentityProvider		
IdentityRiskEvent		
IdentityRiskyUser		
IdentityUserFlow		
InformationProtectionPolicy		

- 次に「GroupMember.Read.All」にチェックを付けます

Azure PortalでAPIのアクセス許可を設定 1 0



Microsoft Azure

API アクセス許可の要求

- > TeamsAppInstallation
- > TeamsApp
- > TeamSettings
- > TeamsTab
- > Team
- > Teamwork
- > Teamwork
- > TermStore
- > ThreatAssessment
- > ThreatIndicators
- > TrustFrameworkKeySet
- > UserAuthenticationMethod
- > UserNotification
- > UserShiftPreferences
- ▼ User (1)
 - User.Export.All
Export user's data ① はい
 - User.Invite.All
Invite guest users to the organization ① はい
 - User.ManageIdentities.All
Manage all users' identities ① はい
 - User.Read.All
Read all users' full profiles ① はい
 - User.ReadWrite.All
Read and write all users' full profiles ① はい

アクセス許可の更新 破棄

- 次に「User.Read.All」にチェックを付けます

Azure PortalでAPIのアクセス許可を設定 1 1



Microsoft Azure

API アクセス許可の要求

- > TeamsAppInstallation
- > TeamsApp
- > TeamSettings
- > TeamsTab
- > Team
- > Teamwork
- > Teamwork
- > TermStore
- > ThreatAssessment
- > ThreatIndicators
- > TrustFrameworkKeySet
- > UserAuthenticationMethod
- > UserNotification
- > UserShiftPreferences
- ▼ User (1)
 - User.Export.All
Export user's data ① はい
 - User.Invite.All
Invite guest users to the organization ① はい
 - User.ManageIdentities.All
Manage all users' identities ① はい
 - User.Read.All
Read all users' full profiles ① はい
 - User.ReadWrite.All
Read and write all users' full profiles ① はい

アクセス許可の更新 破棄

- 最後に「アクセス許可の更新」をクリックします

Azure PortalでAPIのアクセス許可を設定 1 2



API / アクセス許可の名前	種類	説明	管理者の同意が必要	状態
▼ Microsoft Graph (8)				
Calendars.ReadWrite	アプリケーシ...	Read and write calendars in all mailboxes	はい	⚠ OnTimeBiz に付与されて...
Directory.Read.All	アプリケーシ...	Read directory data	はい	⚠ OnTimeBiz に付与されて...
Group.Read.All	アプリケーシ...	Read all groups	はい	⚠ OnTimeBiz に付与されて...
GroupMember.Read.All	アプリケーシ...	Read all group memberships	はい	⚠ OnTimeBiz に付与されて...
offline_access	委任済み	Maintain access to data you have given it access to	-	...
openid	委任済み	Sign users in	-	...
User.Read	委任済み	Sign in and read user profile	-	...
User.Read.All	アプリケーシ...	Read all users' full profiles	はい	⚠ OnTimeBiz に付与されて...

- 「「テナント名」に管理者の同意を与えます」をクリックします

Azure PortalでAPIのアクセス許可を設定 1 3



Microsoft Azure | リソース、サービス、ドキュメントの検索 (G+)

ホーム > OnTimeBiz | アプリの登録 >

For ontime.ontimedemo.com | API のアクセス許可 ✕

検索 (Ctrl+/) << 最新の情報に更新 | フィードバックがある場合

概要

クイックスタート

統合アシスタント (プレビュー)

管理

ブランド

認証

証明書とシークレット

トークン構成

API のアクセス許可

API の公開

所有者

ロールと管理者 (プレビュー)

マニフェスト

サポート + トラブルシューティング

トラブルシューティング

新しいサポート リクエスト

OnTimeBiz のすべてのアカウントについて、要求されたアクセス許可に対する同意を付与しますか? この操作により、このアプリケーションが既に持っている既存の管理者の同意レコードが、以下の一覧の内容に一致するよう更新されます。

+ アクセス許可の追加 ✓ OnTimeBiz に管理者の同意を与えます

API / アクセス許可の名前	種類	説明	管理者の同意が必要	状態
▼ Microsoft Graph (8)				
Calendars.ReadWrite	アプリケーシ...	Read and write calendars in all mailboxes	はい	⚠ OnTimeBiz に付与されて...
Directory.Read.All	アプリケーシ...	Read directory data	はい	⚠ OnTimeBiz に付与されて...
Group.Read.All	アプリケーシ...	Read all groups	はい	⚠ OnTimeBiz に付与されて...
GroupMember.Read.All	アプリケーシ...	Read all group memberships	はい	⚠ OnTimeBiz に付与されて...
offline_access	委任済み	Maintain access to data you have given it access to	-	...
openid	委任済み	Sign users in	-	...
User.Read	委任済み	Sign in and read user profile	-	...
User.Read.All	アプリケーシ...	Read all users' full profiles	はい	⚠ OnTimeBiz に付与されて...

- 確認画面で「はい」をクリックします

Azure PortalでAPIのアクセス許可を設定 1 4



Microsoft Azure | リソース、サービス、ドキュメントの検索 (G+)

ホーム > OnTimeBiz | アプリの登録 >

For ontime.ontimedemo.com | API のアクセス許可

検索 (Ctrl+/) << 最新の情報に更新 | フィードバックがある場合

概要

クイックスタート

統合アシスタント (プレビュー)

管理

ブランド

認証

証明書とシークレット

トークン構成

API のアクセス許可

API の公開

所有者

ロールと管理者 (プレビュー)

マニフェスト

サポート + トラブルシューティング

トラブルシューティング

新しいサポート リクエスト

要求されたアクセス許可の管理者の同意が正常に付与されました。

構成されたアクセス許可

アプリケーションは、同意のプロセスの一環としてユーザーが管理者からアクセス許可が付与されている場合、API を呼び出すことが承認されます。構成されたアクセス許可の一覧には、アプリケーションに必要なすべてのアクセス許可を含める必要があります。 [アクセス許可と同意に関する詳細情報](#)

+ アクセス許可の追加 | OnTimeBiz に管理者の同意を与えます

API / アクセス許可の名前	種類	説明	管理者の同意が必要	状態
▼ Microsoft Graph (8)				
Calendars.ReadWrite	アプリケーシ...	Read and write calendars in all mailboxes	はい	✔ OnTimeBiz に付与されま...
Directory.Read.All	アプリケーシ...	Read directory data	はい	✔ OnTimeBiz に付与されま...
Group.Read.All	アプリケーシ...	Read all groups	はい	✔ OnTimeBiz に付与されま...
GroupMember.Read.All	アプリケーシ...	Read all group memberships	はい	✔ OnTimeBiz に付与されま...
offline_access	委任済み	Maintain access to data you have given it access to	-	✔ OnTimeBiz に付与されま...
openid	委任済み	Sign users in	-	✔ OnTimeBiz に付与されま...
User.Read	委任済み	Sign in and read user profile	-	✔ OnTimeBiz に付与されま...
User.Read.All	アプリケーシ...	Read all users' full profiles	はい	✔ OnTimeBiz に付与されま...

- 了承メッセージを確認します。
- 最後に「APIのアクセス許可」の一覧の項目がマニュアルと一致しているか確認します
- Azure Portalでの作業はこれで完了です

OnTime管理センターでアプリ登録します 1



OnTime®

ライセンス先 AXCEL THIRD
200のうち71ライセンスを使用中です
試用版 | 終了まで 27 日

ONTIME 管理センター

キャンセル アプリケーション登録

MS TEAMS セットアップ

ドメイン毎に上の「アプリケーション登録」から取得した「アプリケーション(クライアント)ID」と「クライアントシークレット(パスワード)」、「テナントID」をドメイン名の横に登録し「ドメインを保存して同意する」をクリックして認証します。

	アプリケーション(クライアント)ID	クライアントシークレット	テナントID
ontimebiz	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
ontimedemo	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

ダッシュボード
データベース設定
グローバル設定
ドメイン設定
ユーザー設定
表示グループ設定
凡例設定
日程調整設定
ケータリング
MS TEAMS 設定

- OnTime管理センターにログインして「MS TEAMS設定」タブに移動します
- OnTimeで登録しているテナント(もしくはドメイン)すべての設定行が表示されています
左図では既に登録されているテナントも表示されています

OnTime管理センターでアプリ登録します 2



OnTime®

ライセンス先 AXCEL THIRD
200のうち71ライセンスを使用中です
試用版 | 終了まで 27 日

ONTIME 管理センター

キャンセル アプリケーション登録

MS TEAMS セットアップ

ドメイン毎に上の「アプリケーション登録」から取得した「アプリケーション(クライアント)ID」と「クライアントシークレット(パスワード)」、「テナントID」をドメイン名の横に登録し「ドメインを保存して同意する」をクリックして認証します。

	アプリケーション(クライアント)ID	クライアントシークレット	テナントID
ontimebiz	1100a7b1-4128-4280-9101-000000000000	55p-wm1j_0pww0q2Dk0zE-0L0L0q_7y00W1	1100a7b1-4128-4280-9101-000000000000
ontimedemo	1100a7b1-4128-4280-9101-000000000000	55p-wm1j_0pww0q2Dk0zE-0L0L0q_7y00W1	1100a7b1-4128-4280-9101-000000000000

- Microsoft TeamsでOnTimeを利用予定のドメインの行に先ほどのAzure Portalの作業で保存した「アプリケーション(クライアント)ID」、「クライアントシークレット(アプリケーションパスワード)」と「テナント(ディレクトリ)ID」を設定します

OnTime管理センターからアクセス許可を確認 1



OnTime®

ライセンス先 AXCEL THIRD
200のうち71ライセンスを使用中です
試用版 | 終了まで 27 日

ONTIME 管理センター

アプリケーション登録

ダッシュボード アップ

データベース設定
アプリケーション登録から取得した「アプリケーション(クライアント)ID」と「クライアントシークレット(パスワード)」、
メイン名の横に登録し「ドメインを保存して同意する」をクリックして認証します。

アプリケーション(クライアント)ID	クライアントシークレット	テナントID	
<input type="text" value="11111111-1111-1111-1111-111111111111"/>	<input type="text" value="11111111-1111-1111-1111-111111111111"/>	<input type="text" value="11111111-1111-1111-1111-111111111111"/>	ドメインを保存して同意する
<input type="text" value="11111111-1111-1111-1111-111111111111"/>	<input type="text" value="11111111-1111-1111-1111-111111111111"/>	<input type="text" value="11111111-1111-1111-1111-111111111111"/>	ドメインを保存して同意する

ドメインを保存して同意する

ドメインを保存して同意する

- 「ドメインを保存して同意する」をクリックします
- リストの右に表示されていない場合は設定画面を右にスクロールしてリンクを表示してクリックしてください

OnTime管理センターからアクセス許可を確認 2



Microsoft
@ontimebiz.onmicrosoft.com

要求されているアクセス許可 組織のレビュー

For ontime.ontimedemo.com
[未確認](#)

このアプリケーションは Microsoft によって公開されたものではありません。

このアプリに必要なアクセス許可:

- ✓ Maintain access to data you have given it access to
- ✓ Sign in and read user profile
- ✓ Read and write calendars in all mailboxes
- ✓ Read directory data
- ✓ Read all groups
- ✓ Read all group memberships
- ✓ Read all users' full profiles

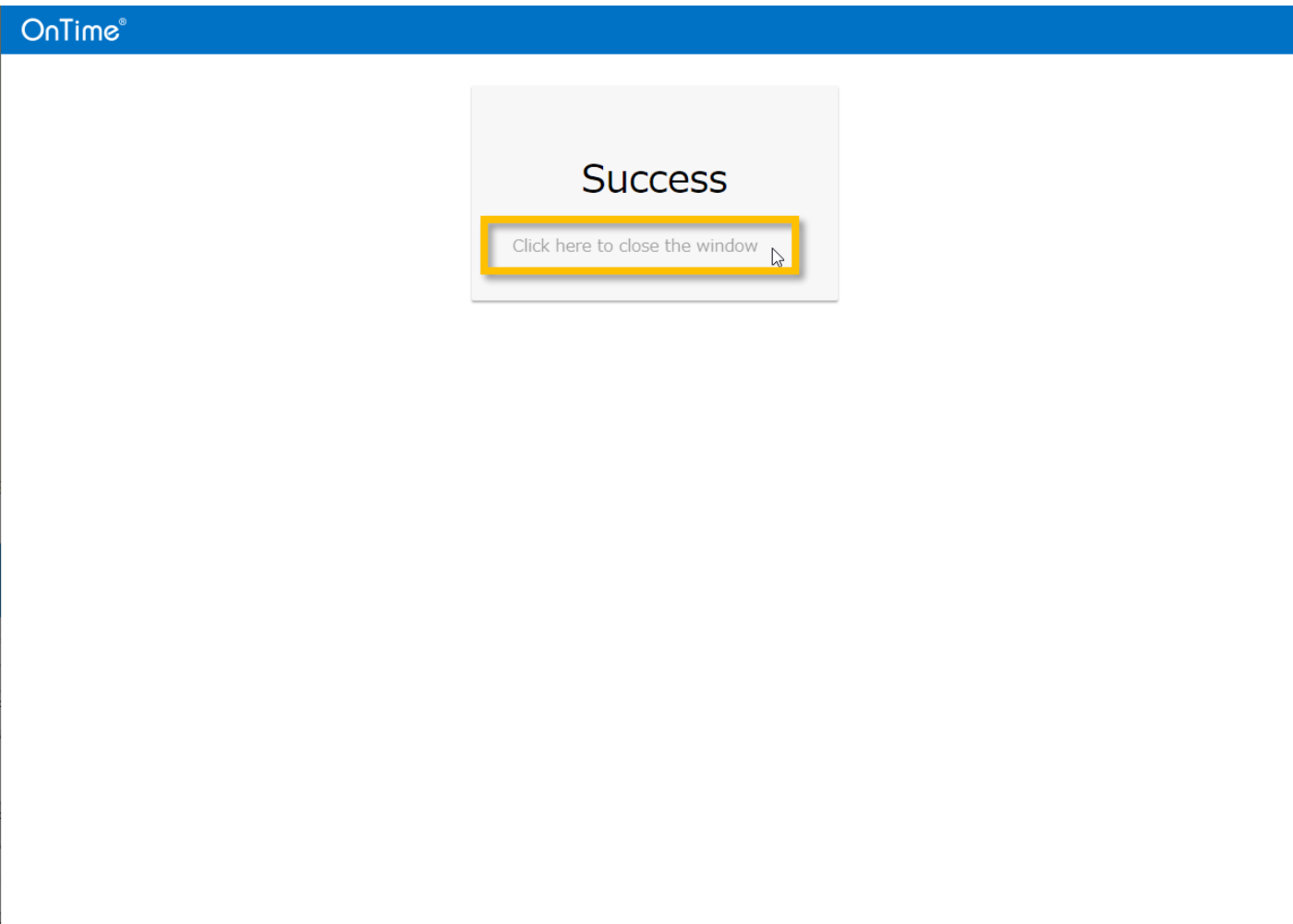
同意すると、このアプリは組織内のすべてのユーザーの指定のリソースにアクセスできるようになります。これらのアクセス許可の確認を求めたメッセージは、他のユーザーには表示されません。

これらのアクセス許可を受け入れることは、サービス利用規約とプライバシーに関する声明で指定されているとおりこのアプリがデータを使用することを許可することを意味します。確認を行うための利用規約へのリンクが発行元によって提供されていません。これらのアクセス許可は <https://myapps.microsoft.com> で変更できます。詳細の表示

このアプリは疑わしいと思われますか? こちらでご報告ください

- 先ほどのTeamsのテナントのAzureAD環境にアクセスするための管理者アカウントを選択した後、アクセス許可の承諾画面が表示されます
- 「承諾」ボタンをクリックします

OnTime管理センターからアクセス許可を確認 3



- OnTimeからのアクセスが成功したら左図のような画面が表示されます
- 表示されたらブラウザタブを閉じてください
- メッセージが違う場合は管理者にご相談ください

OnTime管理センターからアクセス許可を確認 4

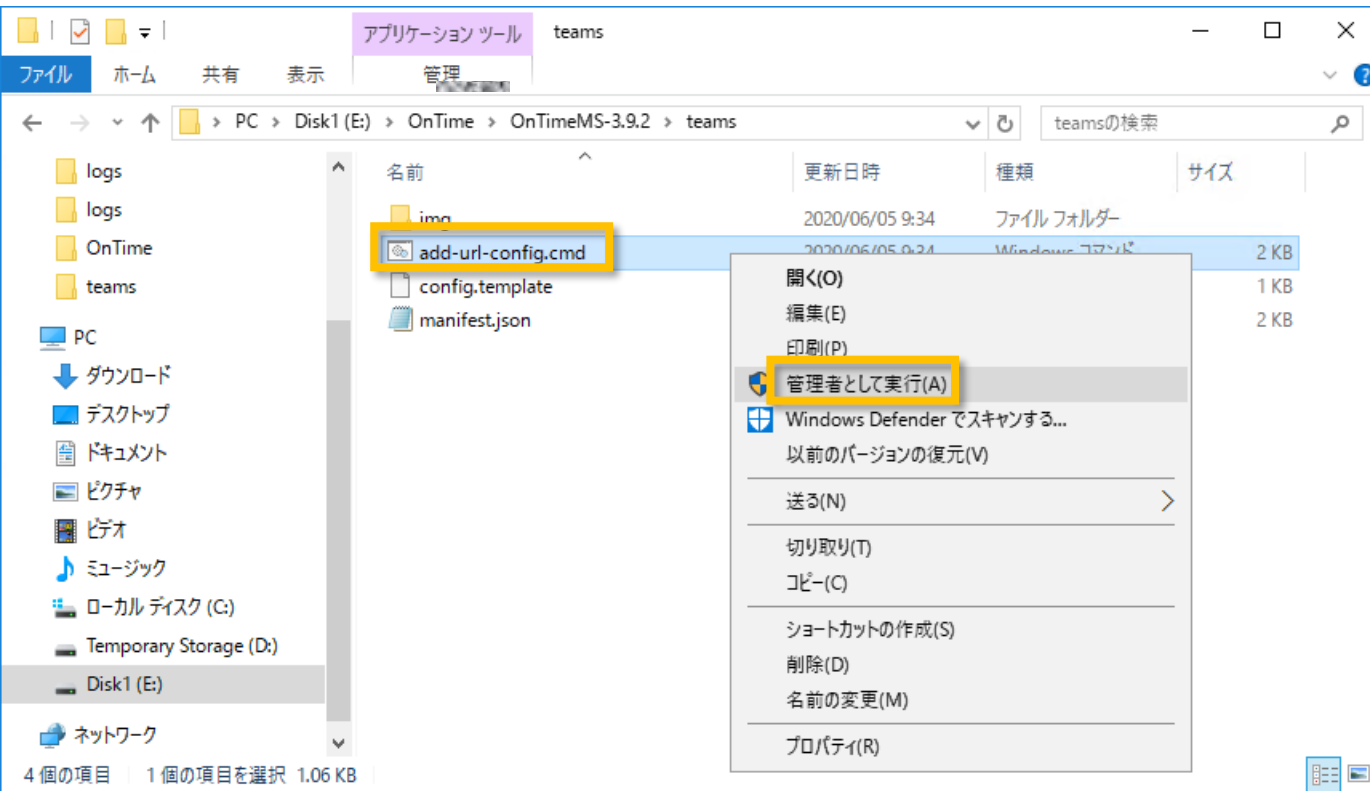


The screenshot shows the OnTime management center interface. The top navigation bar includes the OnTime logo, a license notice for 'AXCEL THIRD' (200 licenses used, trial ends in 27 days), and a settings icon. The left sidebar lists various settings: ONTIME 管理センター, ダッシュボード, データベース設定, グローバル設定, ドメイン設定, ユーザー設定, 表示グループ設定, 凡例設定, 日程調整設定, ケータリング, and MS TEAMS 設定. The main content area is titled 'アプリケーション登録' and contains instructions: 'アプリケーション登録から取得した「アプリケーション(クライアント)ID」と「クライアントシークレット(パスワード)」、メイン名の横に登録し「ドメインを保存して同意する」をクリックして認証します。' Below this is a table with three columns: 'アプリケーション(クライアント)ID', 'クライアントシークレット', and 'テナントID'. Two rows of data are visible, each with a 'ドメインを保存して同意する' button to its right.

アプリケーション(クライアント)ID	クライアントシークレット	テナントID	
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	ドメインを保存して同意する
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	ドメインを保存して同意する

- OnTime管理センターでの作業はこれで完了です

OnTime側のconfig.htmlファイルを登録 1



- Microsoft Teamsのアプリ登録画面用のconfig.htmlファイルを生成します
- ダウンロードしたOnTimeプログラムの展開したフォルダ内の「teams」フォルダに移動します
- フォルダ内の「add-url-config.cmd」をマウス右ボタンメニューから「管理者として実行」をクリックします

OnTime側のconfig.htmlファイルを登録 2



```
管理: G:\Windows\System32\cmd.exe
OnTime Teams configuration
Please enter the OnTime server name for example ontime.acme.com
OnTime server name: ontime.ontimedemo.com
```

- コマンドプロンプトが開き、OnTimeサーバーのホスト名を要求されます
- 左図のようにホスト名を入力してエンターします
- 左図ではOnTimeサーバーのホスト名を「ontime.ontimedemo.com」としてご説明しています

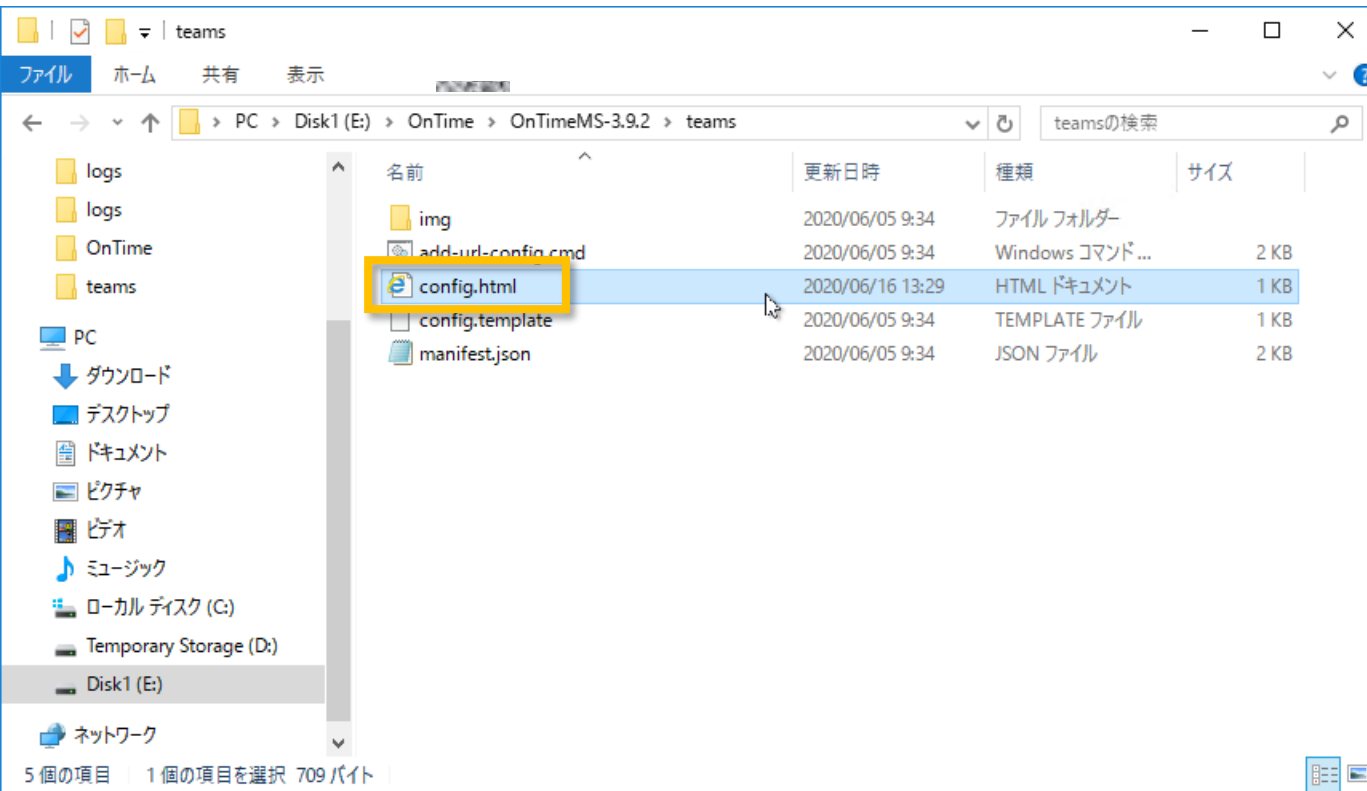
OnTime側のconfig.htmlファイルを登録 3



```
管理: G:\Windows\System32\cmd.exe
OnTime Teams configuration
Please enter the OnTime server name for example ontime.acme.com
OnTime server name: ontime.ontimedemo.com
File config.html was created
E:config.html
1 個のファイルをコピーしました
File copy saved in OnTimeGCMS folder
E:config.html
1 個のファイルをコピーしました
File copy saved in Tomcat webapps folder
続行するには何かキーを押してください . . .
```

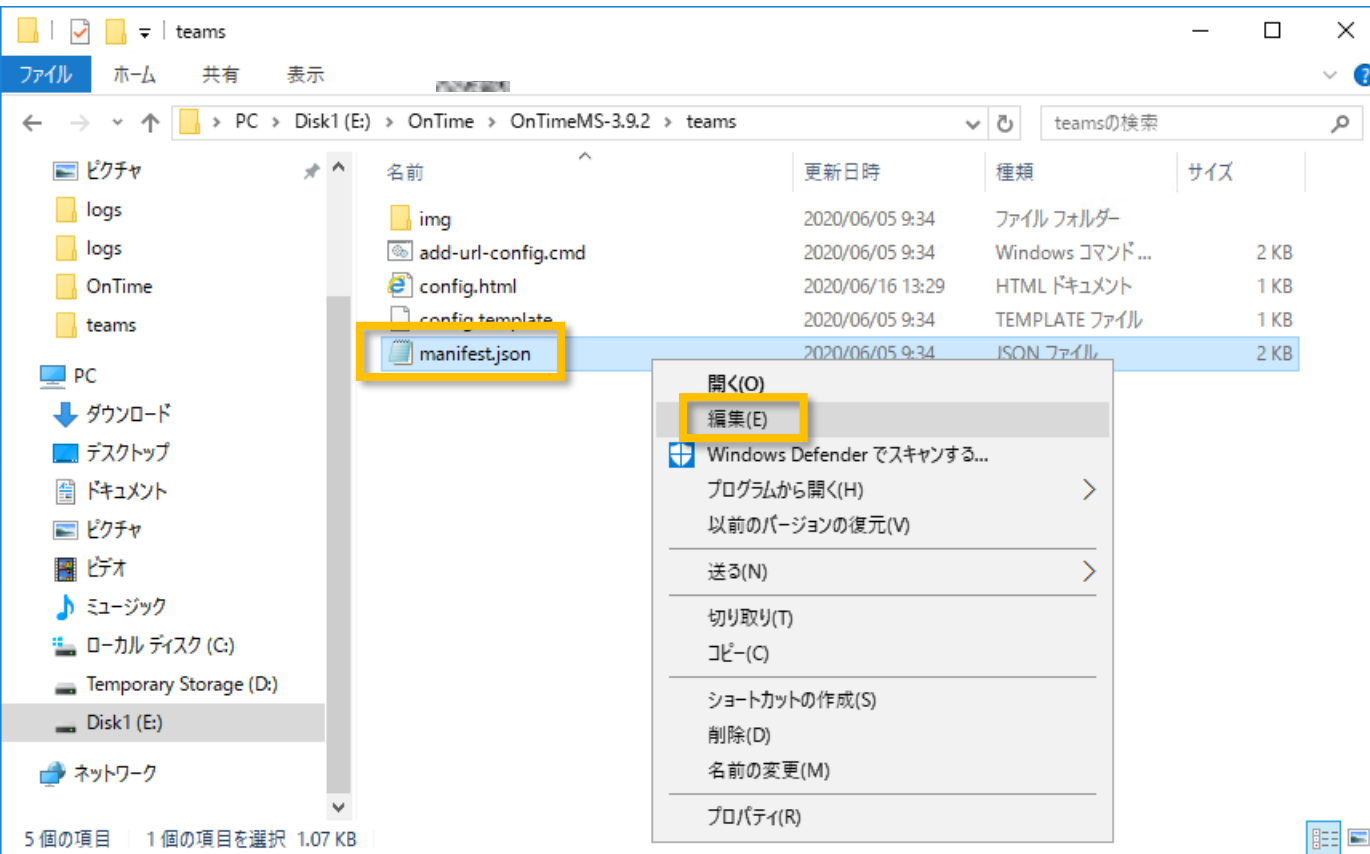
- 画面の通りこのフォルダと共にTomcatのwebappsに保存されます
- メッセージの通り何かキーを押してコマンドプロンプトを閉じます

OnTime側のconfig.htmlファイルを登録 4



- フォルダ内にもバックアップとして config.htmlファイルが作成されています

Teamsのアプリ登録用zipファイルの作成 1



- Microsoft Teamsのアプリ登録用のzipファイルを作成します
- 同じく「teams」フォルダで作業します
- フォルダ内の「manifest.json」をテキストエディターで編集します
本マニュアルではメモ帳を使用します

Teamsのアプリ登録用zipファイルの作成 2



```
manifest.json - メモ帳
ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)
{
  "$schema": "https://developer.microsoft.com/en-us/json-schemas/teams/v1.3/MicrosoftTeams.schema.json",
  "manifestVersion": "1.3",
  "version": "10.1",
  "id": "78b20fa4-cb8f-4b84-bc86-4630af3b43f1",
  "packageName": "com.microsoft.teams.ontime",
  "developer": {
    "name": "IntraVision",
    "websiteUrl": "https://www.ontimesuite.com",
    "privacyUrl": "https://www.ontimesuite.com/privacy",
    "termsOfUseUrl": "https://www.ontimesuite.com/termsfuse"
  },
  "icons": {
    "color": "img/ontime-192.png",
    "outline": "img/ontime-32.png"
  },
  "name": {
    "short": "OnTime",
    "full": "OnTime"
  },
  "description": {
    "short": "Opens OnTime calendar with current team members.",
    "full": "Opens OnTime calendar with current team members."
  },
  "accentColor": "#FFFFFF",
  "permissions": ["identity"],
  "validDomains": [
    "*.ontimesuite.com",
    "*.ontimecalendar.com",
    "*.intravision.dk"
  ],
  "configurableTabs": [
    {
      "configurationUrl": "https://www.example.com/teams/config.html",
      "scopes": ["team"]
    }
  ]
}
```

- 左図の2つの四角枠の部分を修正していきます
- 「validDomains」の既存の3つのドメイン情報は削除し、ご利用の組織のOnTimeサーバーの情報に変更します
- 「configurationUrl」もご利用の組織のOnTimeサーバーの情報に変更します
- 次ページで具体的に登録する内容について説明します

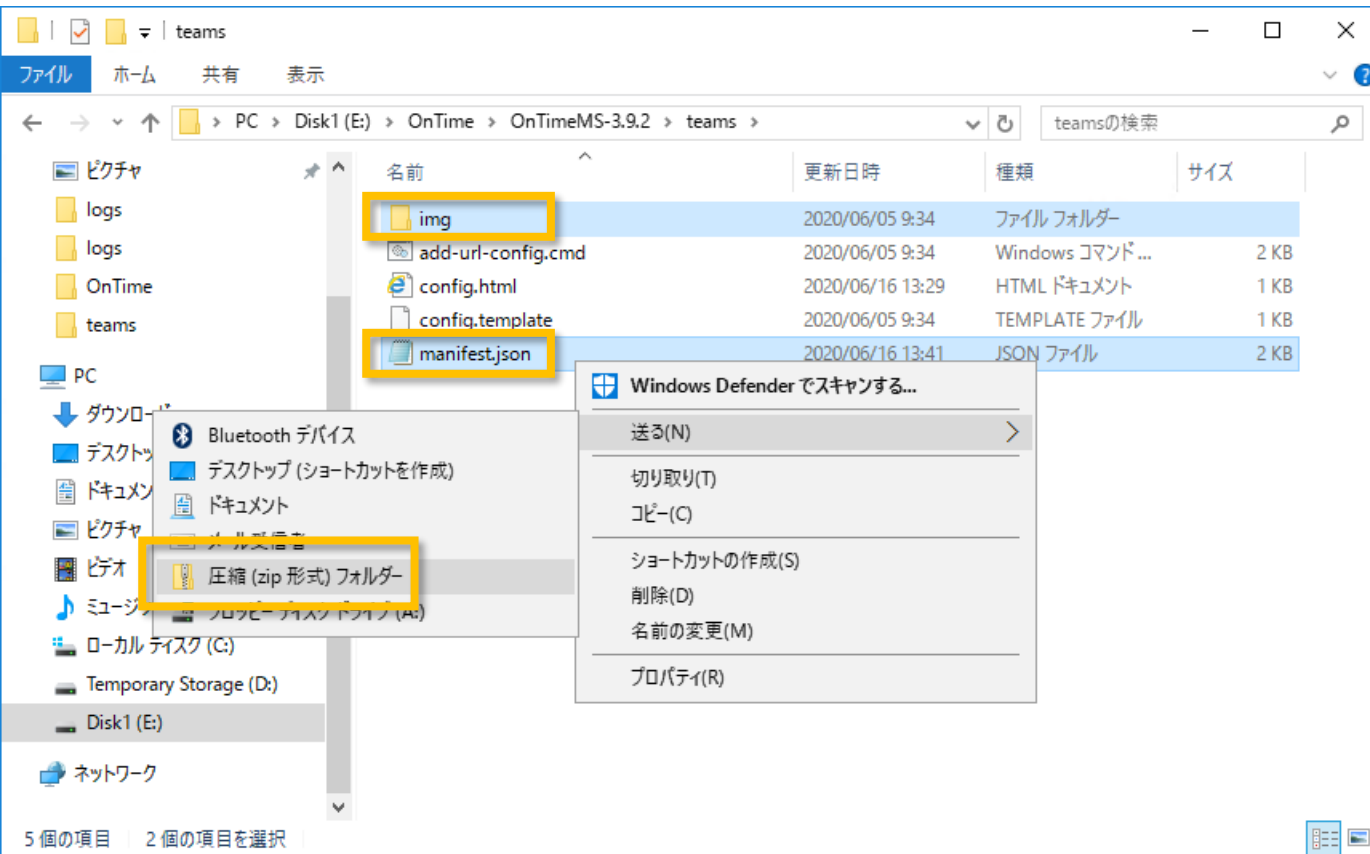
Teamsのアプリ登録用zipファイルの作成 3



```
manifest.json - メモ帳
ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)
{
  "$schema": "https://developer.microsoft.com/en-us/json-schemas/teams/v1.3/MicrosoftTeams.schema.json",
  "manifestVersion": "1.3",
  "version": "10.1",
  "id": "78b20fa4-cb8f-4b84-bc86-4630af3b43f1",
  "packageName": "com.microsoft.teams.ontime",
  "developer": {
    "name": "IntraVision",
    "websiteUrl": "https://www.ontimesuite.com",
    "privacyUrl": "https://www.ontimesuite.com/privacy",
    "termsOfUseUrl": "https://www.ontimesuite.com/termsfuse"
  },
  "icons": {
    "color": "img/ontime-192.png",
    "outline": "img/ontime-32.png"
  },
  "name": {
    "short": "OnTime",
    "full": "OnTime"
  },
  "description": {
    "short": "Opens OnTime calendar with current team members.",
    "full": "Opens OnTime calendar with current team members."
  },
  "accentColor": "#FFFFFF",
  "permissions": ["identity"],
  "validDomains": [
    "*.ontimedemo.com"
  ],
  "configurableTabs": [
    {
      "configurationUrl": "https://ontime.ontimedemo.com/teams/config.html",
      "scopes": ["team"]
    }
  ]
}
```

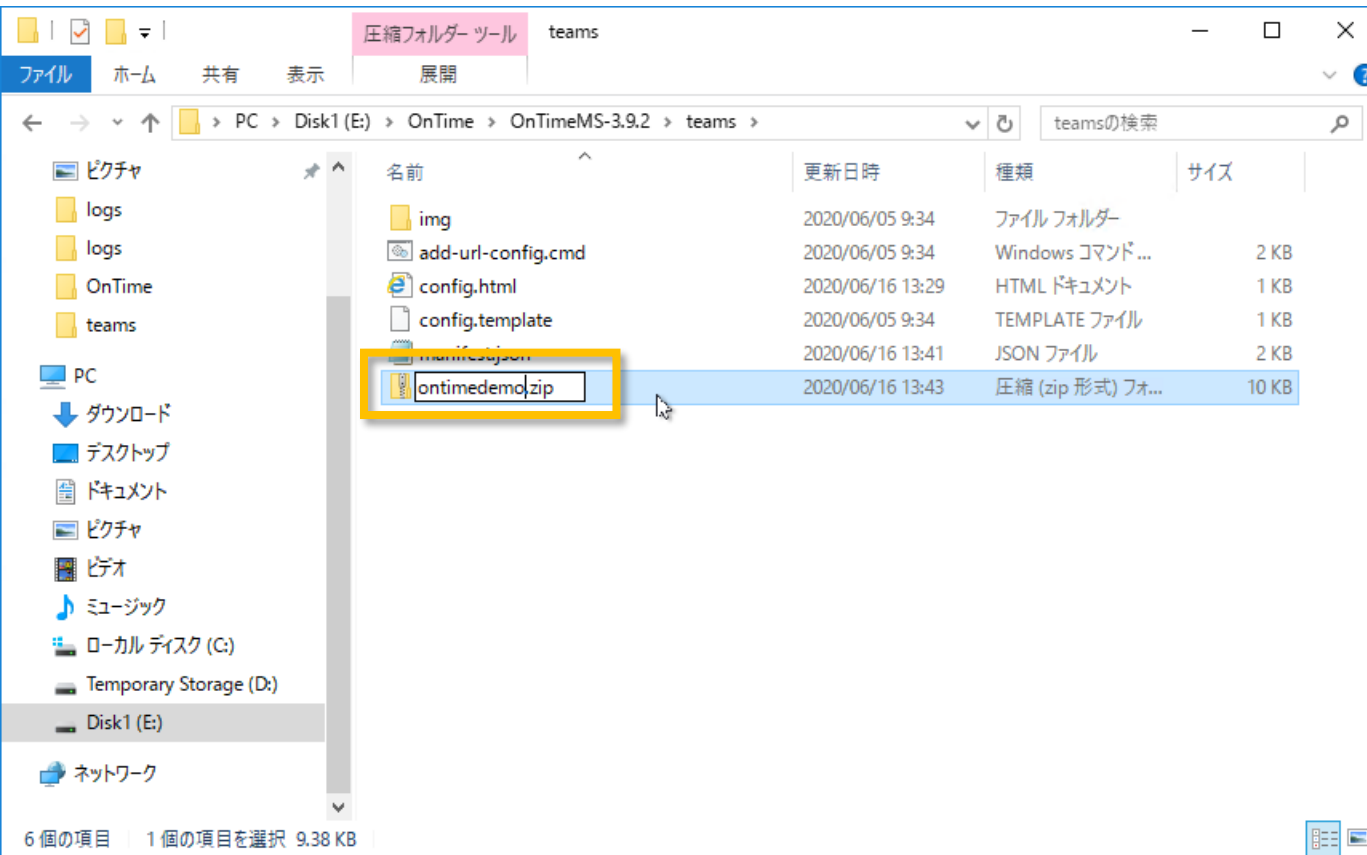
- 左図はOnTimeサーバーのホスト名を「ontime.ontimedemo.com」としてご説明しています
- 「validDomains」のドメインにはOnTimeサーバーのドメインを指定するので“*.ontimedemo.com”と設定します
- 「configurationUrl」には先ほど作成したconfig.htmlファイルを指定するのでHOST名だけデフォルト値から修正してください
- 前述の接続するOnTimeサーバー名から“https://ontime.ontimedemo.com/teams/config.html”と設定します
- 両編集後にファイルを保存します

Teamsのアプリ登録用zipファイルの作成 4



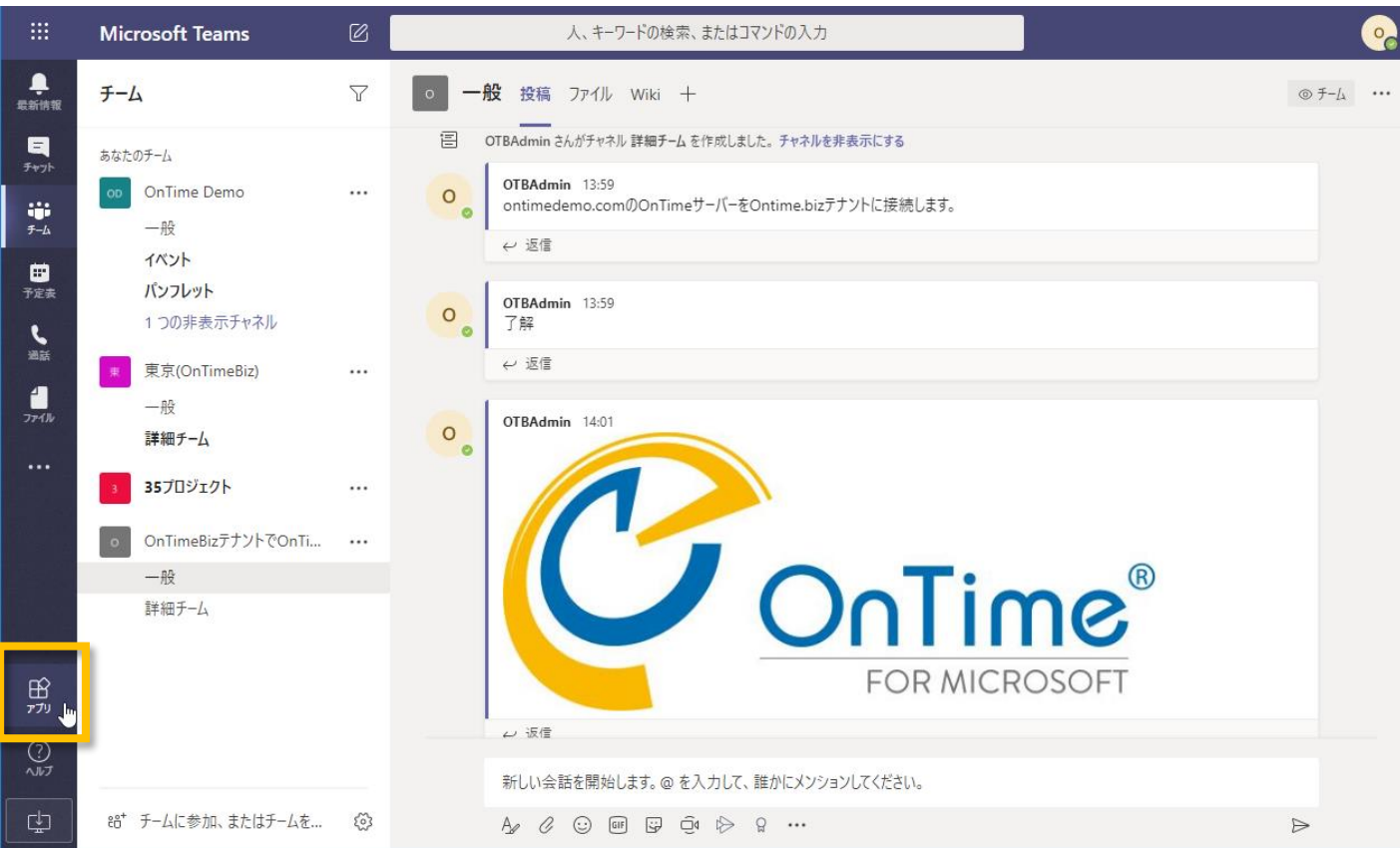
- 保存した「manifest.json」ファイルと「img」フォルダをまとめたzipファイルを作成します
- 画面上では上記二つを選択した状態からマウス右ボタンで「送る」「圧縮(zip形式)フォルダ」を選択し実行します

Teamsのアプリ登録用zipファイルの作成 5



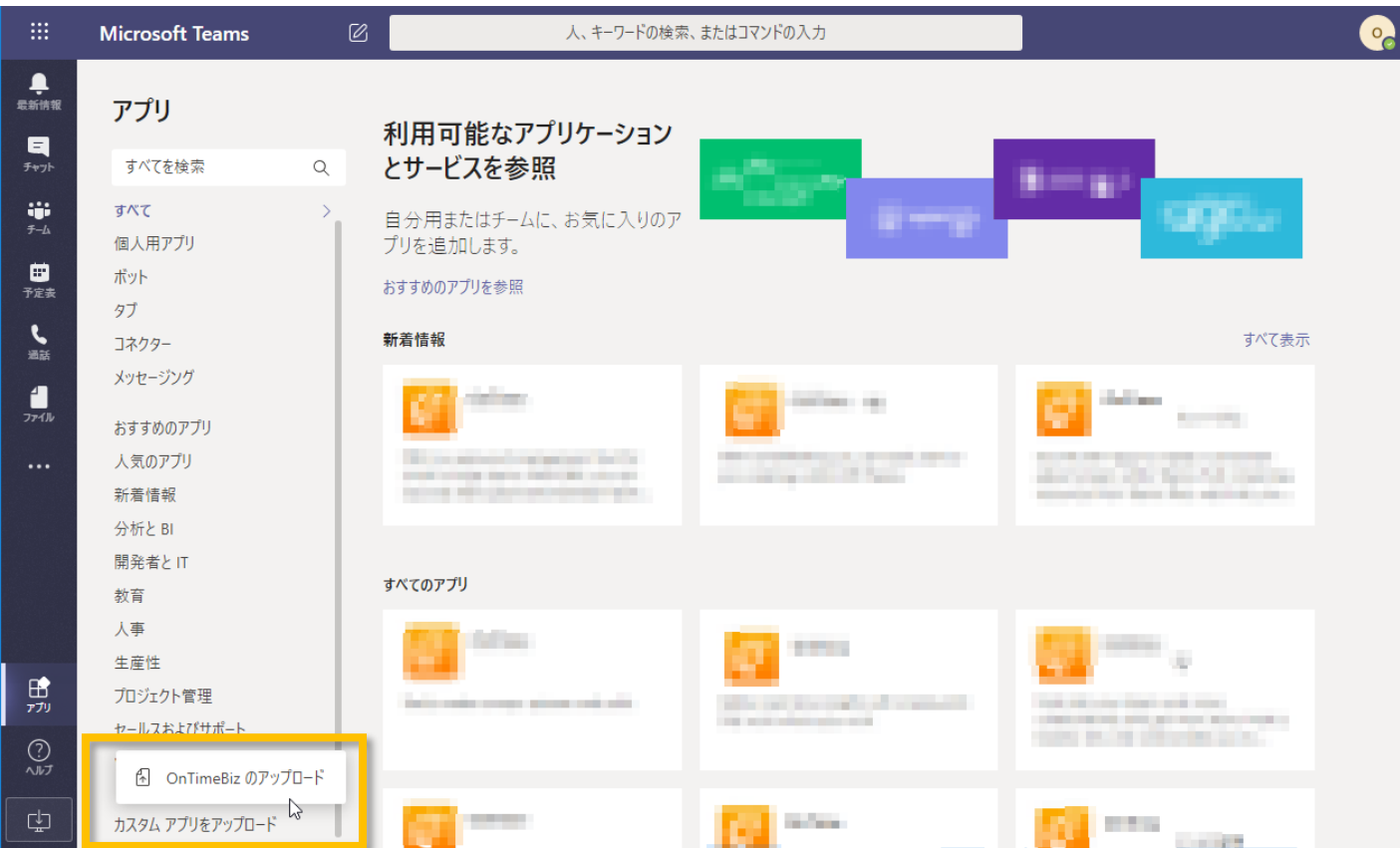
- 名前は自由に設定してください
本マニュアルでは「ontimedemo.zip」
です
- 出来上がったzipファイルは次に行う
Microsoft Teamsのアプリへ登録する
作業で使用しますので保管しておきま
す

Teamsへアプリの新規登録 1



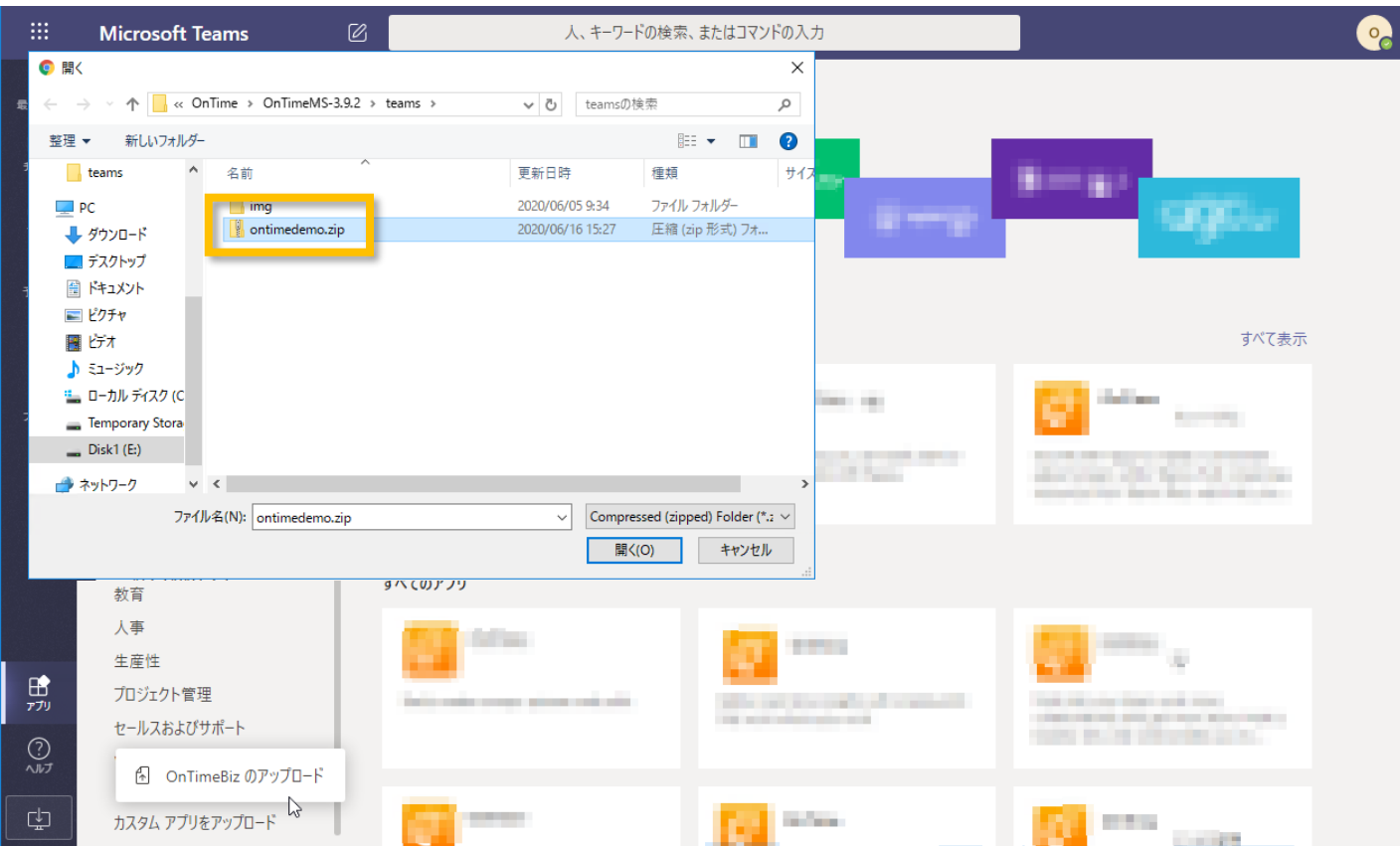
- Teams サービス管理者にてMicrosoft Teamsを開きます
- 画面左下の「アプリ」をクリックします
- 作業はEdgeかChromeをお勧めします

Teamsへアプリの新規登録 2



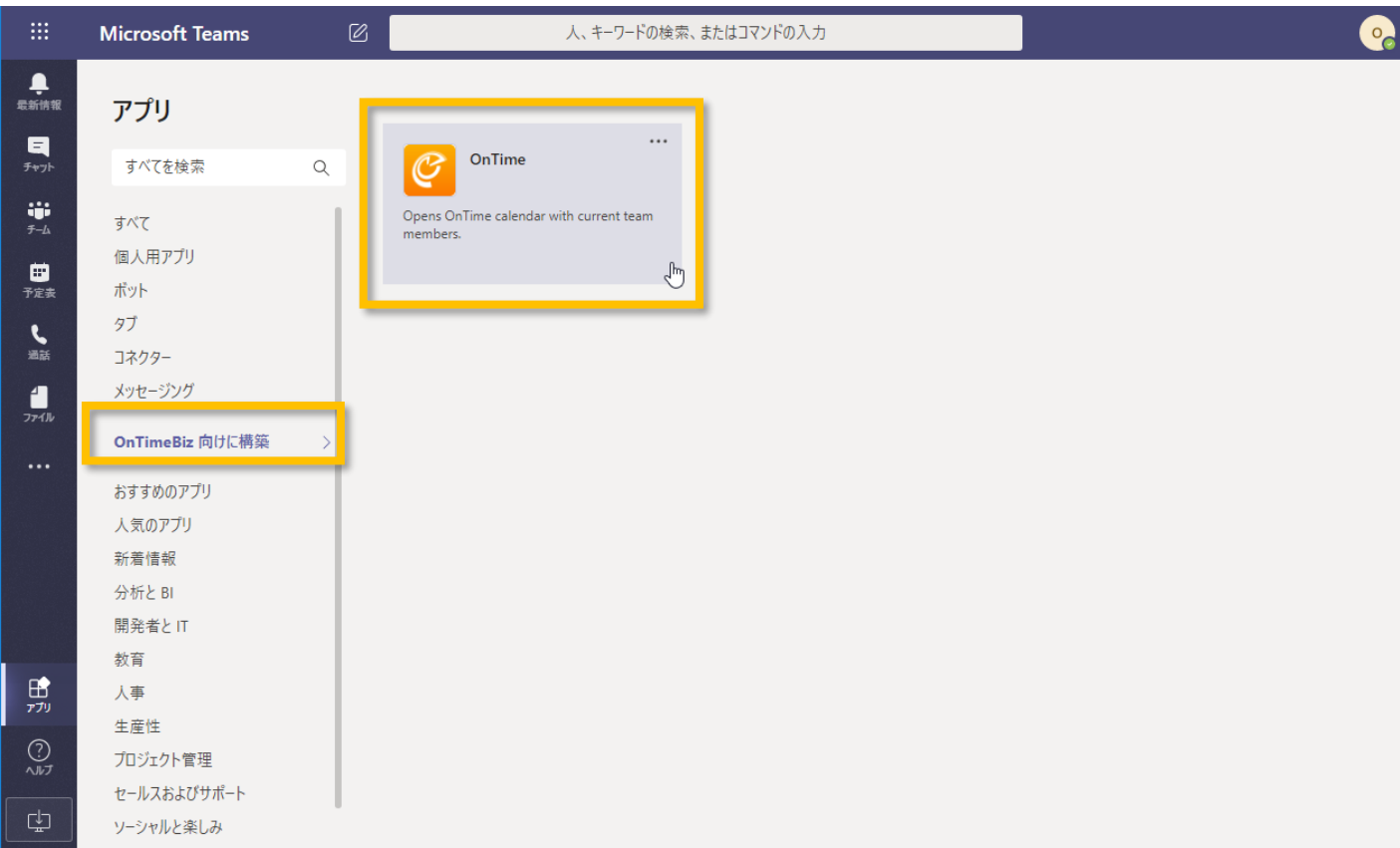
- アプリ画面に切り替わります
- 「カスタムアプリをアップロード」をクリックします
- さらに「[組織]のアップロード」をクリックします

Teamsへアプリの新規登録 3



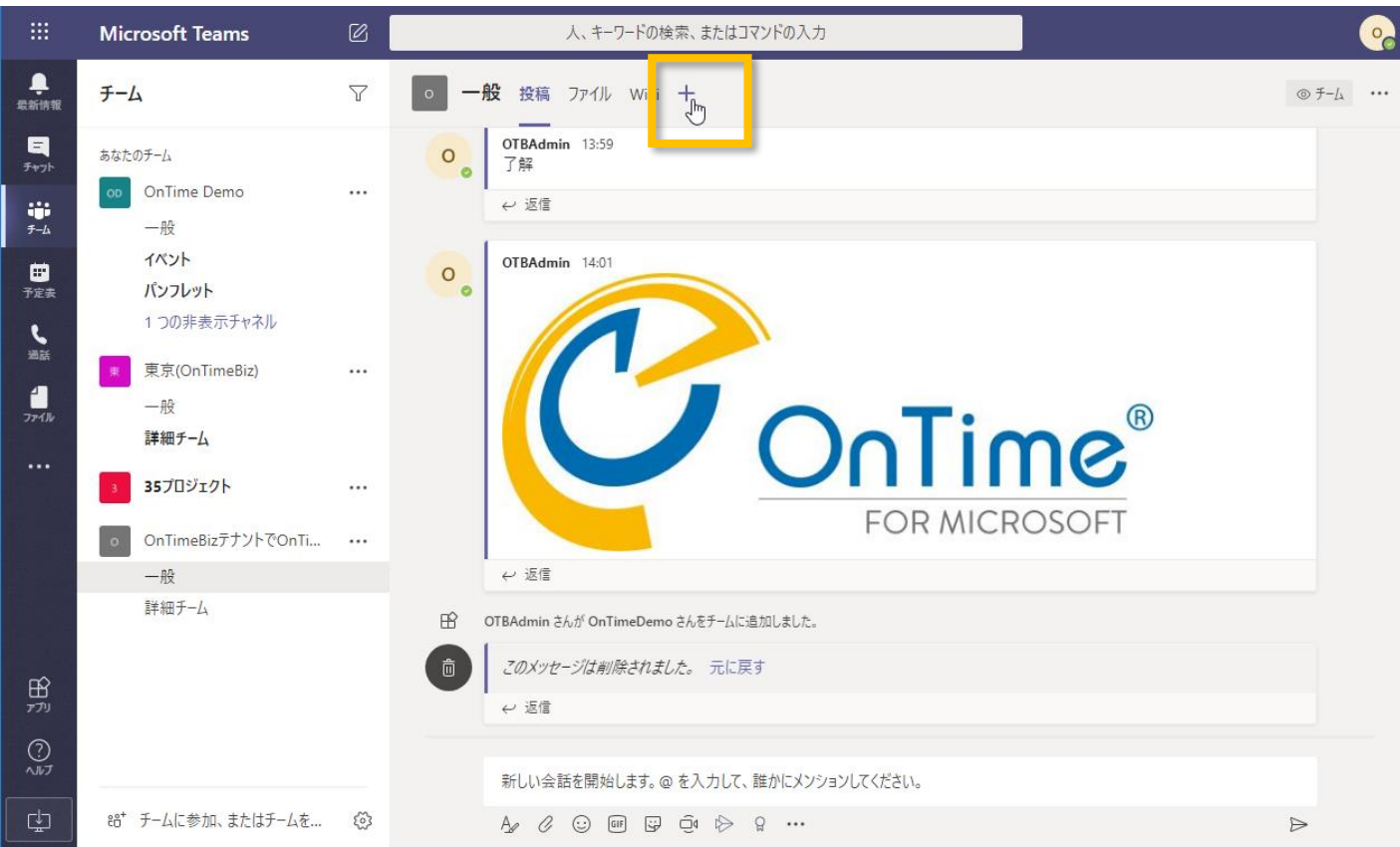
- 先ほど作成したzipファイルを選択します

Teamsへアプリの新規登録 4



- アプリカテゴリに[組織]が表示され、中に「OnTime」アプリが登録されています
- エラーが表示される場合は管理者にご相談ください
- IE11を使用している場合はエラーになる可能性があるためEdgeかChromeをお勧めします

続いてチームのチャンネルにアプリの追加 1



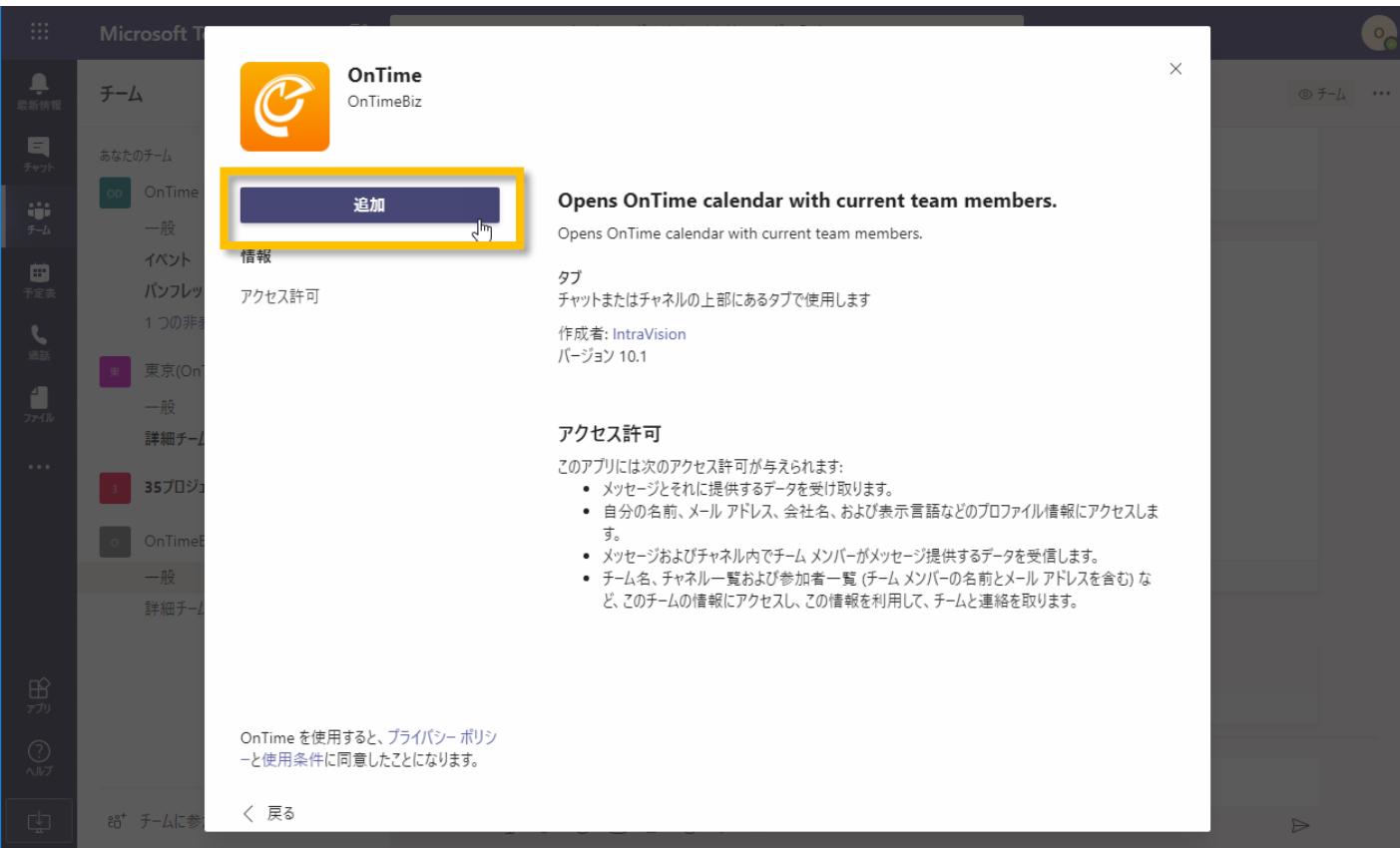
- チームの所有者はご希望のチャンネルで「+ (タブを追加)」をクリックします

続いてチームのチャンネルにアプリの追加 2



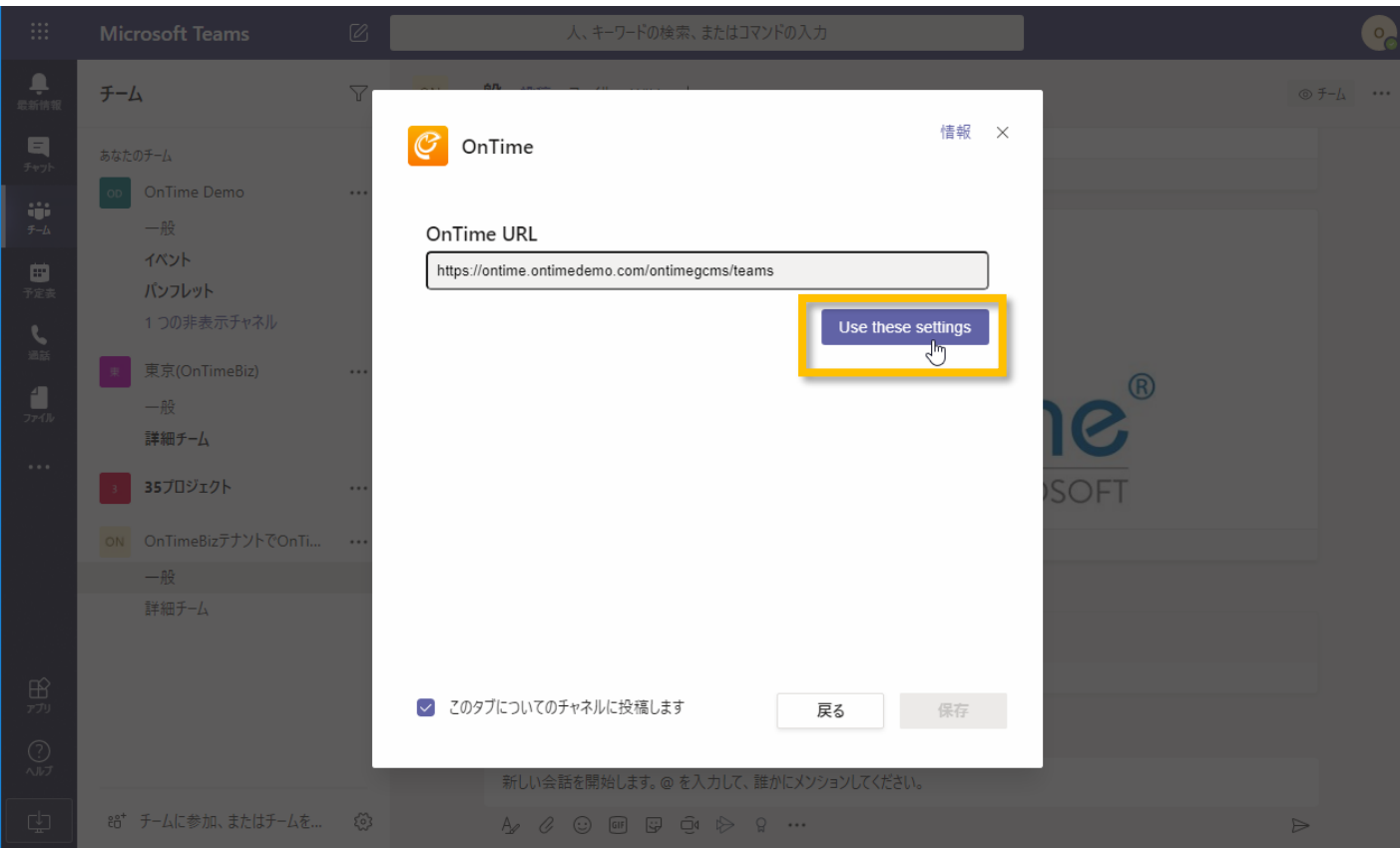
- 「OnTime」アプリをクリックして選択します
- 画面の一覧で見つけにくい場合は右上の検索窓に「ontime」と入力して検索してください

続いてチームのチャンネルにアプリの追加 3



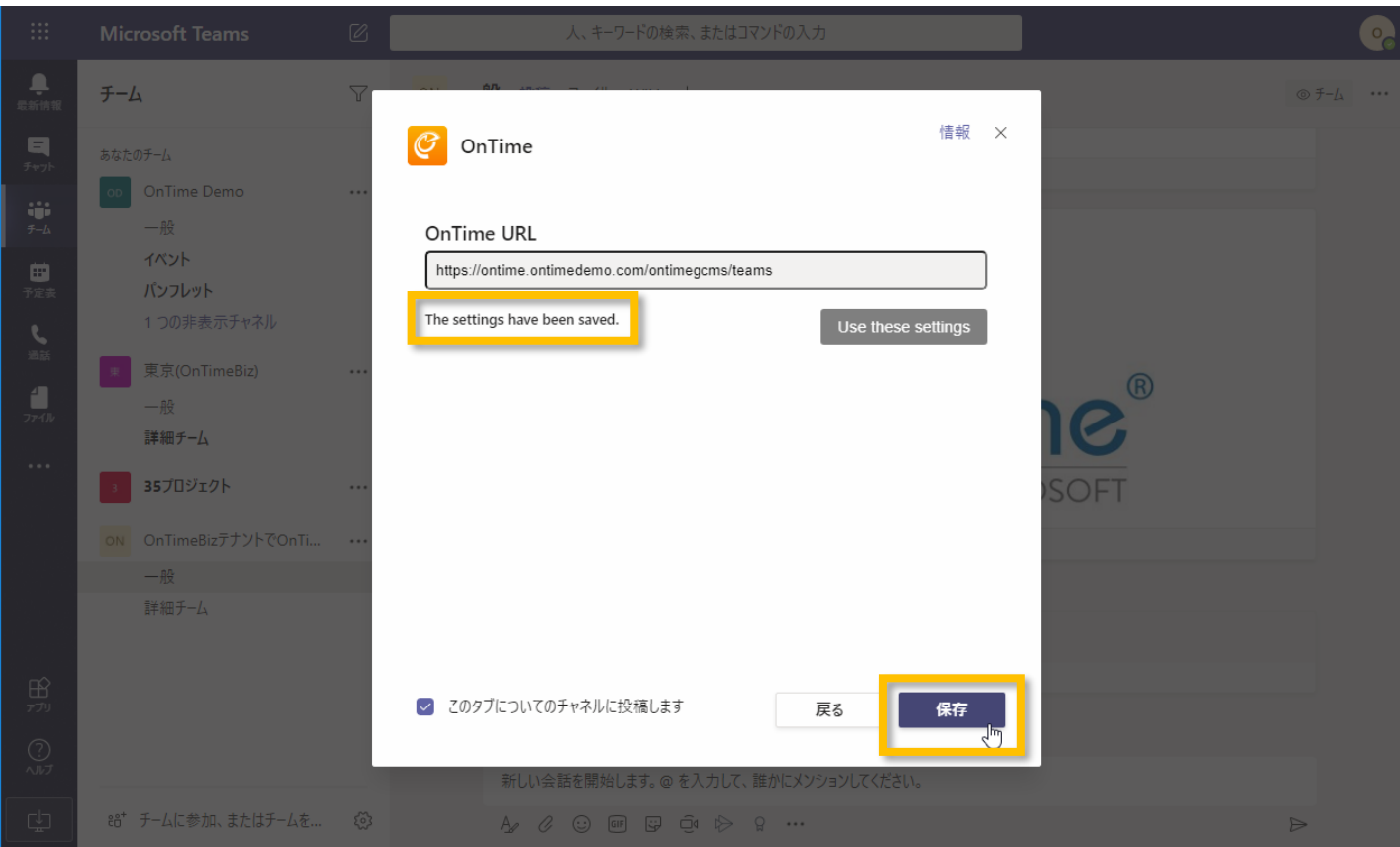
- 「追加」をクリックします

続いてチームのチャンネルにアプリの追加 4



- OnTimeURLが表示されている右下の「Use these settings」をクリックします

続いてチームのチャンネルにアプリの追加 5



- 正常に保存できれば画面のように「The settings have been saved」と表示されます
- 「保存」をクリックして作業を完了します

続いてチームのチャンネルにアプリの追加 6



The screenshot shows the Microsoft Teams interface. At the top, the search bar contains the text "人、キーワードの検索、またはコマンドの入力". Below the search bar, the navigation bar shows tabs for "一般", "投稿", "ファイル", "Wiki", and "OnTime". The "OnTime" tab is highlighted with a yellow box. The main content area displays a calendar view for June 9-11, 2020. The calendar shows various meeting events, including "aaaa" and "日程...". The interface also includes a sidebar with navigation options like "チーム", "チャット", "予定表", "通話", "ファイル", and "ヘルプ".

- チームの画面に戻ったらタブに「OnTime」が追加されMicrosoft Teams用のOnTime画面が開きます

補足



- 以降はチームにメンバーの追加削除が行われるとOnTime上のメンバーの表示も自動で追加削除されます
- 各チームのチャンネルでは各チームの管理者が「OnTime」タブを追加できます
- OnTime上でメンバーのイベント(予定)に対する権限はOnTimeの設定に準拠します